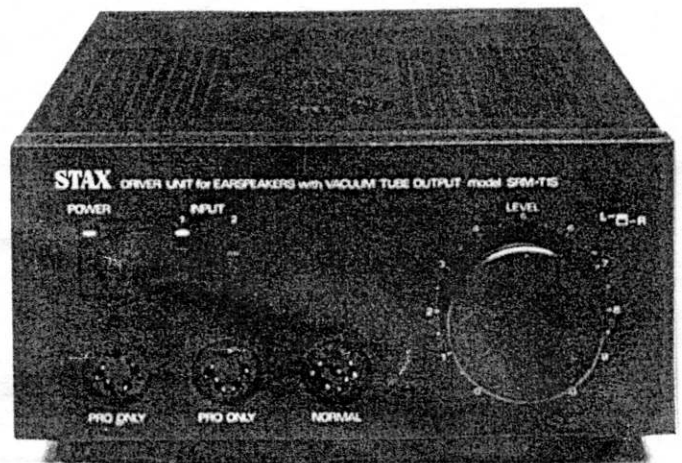


SRM-T1S

真空管出力段採用により
透明度の高い優れた音質
を実現。
スタックスの考える音質が、
また新たに実証される。



SRM-T1をベースに、
さらにグレードアップ

SRM-T1S

- アンプ部とイヤースピーカーの間にトランスを介在させないダイレクトドライバーですから、トランスによる音質劣化がありません。
- シンプルな2段増幅回路とし初段はデュアルFET、出力段は、6FQ7(6CG7)を採用することにより透明度の高い音質を実現。
- 真空管アンプでありながらカップリングコンデンサーを使用しないDC回路構成とし、広いFレンジを誇ります。
- 電子パーツからシャーシにいたるまで非磁性体構成を徹底化した音質の追求。
- 高音質2軸4連ボリュームを採用。
- 抵抗、コンデンサーなど、内部電子部品の向上。
- プロ・シリーズのイヤースピーカー (SR- Λ Signature・Professional・Spirit・SR- Σ Professional・SR- α PRO Excellent など) が2台同時にドライブ出来るように、ハイバイアス・スピーカー・アウトプットを2組とノーマル・バイアス・アウトプットを1組装備。
- フロントパネルの入力セレクターにより、2系統の入力ソースが切り換えが可能。また、入力(2)はRCAコネクターとXLR(キャノン)が用意されており、XLRコネクターは差動回路による反転アンプ無しの純粋なバランス入力(3番HOT)になっています。